バスラ日誌 (4月15日)

- 1 居住区には、VIPルームが3つある。バスラを訪問される方があるときには、この部屋を借りるのだが、何分3つしかないために、部屋を確保するにも早めの申し込みが必要である。もし、この部屋に空きがない時には、隣りの居住区のテント地区に泊まっていただくことになる。VIPルームといっても、我々が宿泊しているコンテナハウスと同じもので、ベットとロッカーがあるだけの質素な部屋である。また、清掃は全くといっていいほどなされず、日本隊が借りるたびに完璧に清掃をするので、その時だけきれいになるといった具合である。今日も をお迎えするために清掃を実施したが、前回 野員が来られたときとは違う部屋を割当てられたので、また大掃除となってしまった。さほど長い時間を要したわけではないが、汗びっしょりになった。真夏の作業は適さないという某発言を思い出したが、やるときはやるのが自衛官である。ただ、熱中症には注意が必要かもしれない。
- 2 地上移動では I E D 等の脅威が高いため、航空機での移動が当然のようになっているが、これは英国軍人にも悩みの種である。 J ー 9 の は今週から3週間にわたり、3回の来訪者対応を行うことになっている。 ブリーフィングはもちろん、移動調整も彼の担当であり、我々と同様、J ー 3 の航空担当者にヘリ輸送調整を行わなければならない。日本陸軍の よろしく、 もこまめに J ー 3 航空担当のところに通い、調整している。以前からお伝えしているように、航空機の数に比して搭乗要請が多く、なかなか要請通りにはいかないので、 もイライラして「ファッ〇ン、ヘリコプター」と司令部でシャウトするような状況である。その反面、日本隊の要請はかなり優遇して頂いているが、これからも要請に的確に応えられるよう、細やかな調整に努めたい。そのためにも、早期かつ正確な情報入手が必要不可欠であるので、ご協力をお願いしたい。
- 3 本日快晴、恐らくこちらに来てからの最高気温、暑し。バスラ9名、極めて健康。



スミッティLO日々業務報告(4月15日)

